

現在、各地域では、校区まちづくり交付金を活用し、「わがまち推進計画」に沿った活動を進めています。そこで今回は、人と人がつながることによって地域コミュニティの活性化を図っている用和小学校区まちづくり協議会の活動をご紹介します。

ふれあいサロン

同協議会では地区福祉委員会との共催で、毎週土曜日午後0時30分から用和小学校区集会所において「ふれあいサロン」を開催しています。参加申込みは不要、時間内の出入りも自由で、気軽に集うことができる場となっています。

毎月第1〜3週目はおしゃべりやカラオケを中心とした集いですが、第4週目には地域の青少年指導員OGによる折り紙などの手作り講座のほか、保健師による健康講座、校区高齢者あんしんセンター「萱振苑」による介護予防教室などを開催しています。

ある日には歯科衛生士を招いて「健口講座」が実施され、約15人の地区住民が参加しました。高齢者に特に注意が必要な「誤嚥性肺炎」を防ぐため、普段から口腔内を清

潔に保ち、また歯だけでなく頬や舌を鍛えておくことが重要であると講師から話があり、口を動かす発声練習や嚥下体操を実践で学ぶことができました。



広報にも力を入れています

会長の山中さんは、「ふれあいサロンは今後もさまざまな新しい取り組みを考えていきますので、なじみの人だけでなく新しい人にもどんどん参加してもらいたいです。情報発信にも力を入れていて、活動を広く住民の皆さんに周知するために年2回『用和レポート』を発行しています。全4ページのカラ刷りで、写真やイラストをふんだんに取り入れ、読みやすい工夫をしています。また、ホームページも開設して、イベントや取り組みをお知らせしています。協議会のことを知って、興味を持ってもらえたら嬉しいです」と話していました。

※ふれあいサロンの開催などについては、事前にお問合せください。

☆問合せ 緑ヶ丘コミセン